

# 市民活動をFMラジオで発信！！ 『つなげよう！市民のチカラ！』



HMD弘前の竹森さん

- 第10回：2016年2月28日（日）
- ゲスト：HMD弘前 竹森 朝子さん

## ○放送内容

HMD弘前では、8ミリフィルム等の映像を弘前の貴重な映像史料として後世に残していくため、市民に広く映像史料の大切さを知ってもらい、各家庭に眠る映像史料を捨てずに残していこうとする意識づけや、保管していくための環境づくりに力を入れています。市民に持ち寄ってもらったフィルムを上映する「ホームムービーの日」や、イベント等についてお話しいただきました。

## □ 記憶をつなぐ

HMDは、毎年10月、第3土曜日に世界中で行われるイベントHome Movie Day（ホームムービーの日）の略称です。HMD弘前では、地域に眠っている昔撮った8ミリフィルムなどの小型フィルムの映像を持ち寄って、みんなで見る上映会等を行っています。

竹森さんは「募集をかけて、市民から『もう、ずっと見てないけど、まだ見られる？』と言われて預かったフィルムのチェックをした後、当日、映写機で上映して、映写機のカタカタカタカタという音を聞きながら、みんなで『ああ、これ懐かしいね』とか、子どもの成長記録も多いので、『このおもちゃ持ってた！』とか、語り合いながら見るという感じですね。上映会をしても話が尽きないんですよ。懐かしいものを見ての感想もあり、思わぬところから思わぬ話になるんです。それを共有しようという上映会をやるんです」と、上映会の魅力をお話されていました。

## □ 「懐かしさ」と「新しさ」

「私たちの活動は、今でもフィルムを見ることができるとし、昔の風景が映っていて、良い資料になるので、捨てないでほしいということを訴えかけることがメインです。」と竹森さんは話します。

市内のまち歩き観光に力を入れる路地裏探偵団の鹿田団長に、フィルムを提供してくれた方からお借りした昔

の写真をと、弘前を案内してもらったイベントもそのための1つです。

「8ミリフィルムを知らない人にとっても、写真なら身近ですよ。まずはイベントに来てもらって、古いフィルムや写真を捨てずに、文化として保存する活動を知ってもらえれば」ということで、鹿田団長をお招きして、写真を使って行うイベントの第2弾を行います（※3月31日開催）。

また、3月26日には地域の歴史がわかる資料を収集・保存し、展示やインターネット上で広く公開しながら、市民による埋もれた歴史資料の掘り起こしをしている「青森まちかど歴史の庵『奏海』の会」の会長を招き、地域で地域の資料を残すことの大切さを楽しく学べるイベントを開催します。

イベントにも、おじいちゃん、お父さん、そのお子さんと3世代でお集まりいただけたらとお話しされていました。

スタジオでは、フィルムを持っている人は結構いるのではという意見もありましたが、竹森さんは「それでも代替わりや引っ越し、年末年始の大掃除などで物を整理することがあると思います。写真でもなんでも当時を知る資料になるので、ぜひ捨てないでください！」と再度強く訴えかけていました。

HMD弘前では、古いフィルムや写真をみんなで見ながら語り合う楽しさを体験してもらい、記録を残すことの大切さを知ってもらった活動をこれからも展開していきます。